

宮城県感染症発生動向調査情報(第46週)

宮城県【平成25年11月21日】発行

宮城県保健環境センター

TEL (022)257-7228

— 2013.11.11 ~ 11.17 ・ 第46週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所								宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第43週	第44週	第45週	第46週
水痘	7 1.40	19 1.90	8 1.60		1 0.33	12 2.40	1 0.50	20 0.77	68 1.17	2,883	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎					3 1.00		9 4.50	14 0.54	26 0.45	998	→	→	○→	○
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	4 0.80	15 1.50	6 1.20	18 9.00	17 5.67	17 3.40	9 4.50	102 3.92	188 3.24	13,404	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	7 1.40	5 0.50	16 3.20	16 8.00	5 1.67	2 0.40		13 0.50	64 1.10	4,459	◎→	◎→	◎→	◎
伝染性紅斑	1 0.20				6 2.00		2 1.00	21 0.81	30 0.52	628	→	→	○→	○
突発性発しん	2 0.40	6 0.60	4 0.80	2 1.00	3 1.00	1 0.20	2 1.00	17 0.65	37 0.64	1,706	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ		1 0.10	1 0.20						2 0.03	2,089	→	→	→	
インフルエンザ											→	→	→	
咽頭結膜熱								4 0.15	4 0.07	697	→	→	→	
流行性角結膜炎		3 1.00						2 0.33	5 0.42	148	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6 1.20	23 2.30	5 1.00	6 3.00	1 0.33	18 3.60		34 1.31	93 1.60	4,319	○→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)						1 1.00			1 0.08	10	→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		2 2.00		1 1.00			12 12.00	1 0.20	16 1.33	827	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	24 4.80	14 1.40	1 0.20			5 1.00		17 0.65	61 1.05	987	○→	○→	○→	○
拡張疾病	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向													
不明発疹症	【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansan-center/													
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※														

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第44週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.78)、愛媛県(0.56)、佐賀県(0.49)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は6例と前週と比較して減少した。都道府県別では6つの県から各1例、年齢別では0歳(1例)、10代(1例)、60代(1例)、70代(2例)、80歳以上(1例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は4,195例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約71%を占めている。**咽頭結膜熱**: 報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(2.33)、佐賀県(1.04)、鹿児島県(0.93)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は山形県(2.77)、鳥取県(2.16)、山口県(2.13)である。**感染性胃腸炎**: 報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(13.64)、鳥取県(8.35)、長崎県(8.18)である。水痘: 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は新潟県(2.07)、三重県(1.67)、岩手県(1.38)である。**手足口病**: 報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(4.95)、佐賀県(4.26)、宮崎県(2.92)である。**百日咳**: 報告数は増加した。都道府県別の上位2位は沖縄県(0.06)、千葉県(0.05)、兵庫県(0.05)、鳥取県(0.05)である。**ヘルパンギーナ**: 報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.42)、北海道(0.38)、徳島県(0.35)である。**マイコプラズマ肺炎**: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は岩手県(2.21)、青森県(1.50)、福島県(1.29)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 前週と比較して増加した。都道府県別では6府県から各1例、年齢別では0歳(3例)、1~4歳(3例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。()内の数字は定点当たり報告数となります。

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし	*男児、女児は6歳未満	
2類感染症: 結核		
大崎管内	男性1名、女性2名	
仙南管内	男性1名	
仙台南管内	女性1名(第43週)、女性1名(第45週)、男性1名	
3類感染症: 報告なし		
4類感染症: レジオネラ症		
石巻管内	男性1名	
5類感染症: アメーバ赤痢		
仙台南管内	男性1名	
梅毒		
塩釜管内	女性1名	
仙台南管内	男性1名(第37週)、男性1名(第45週)、女性1名	
風しん(検査診断例)		
栗原管内	女性1名	

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[手足口病]
大崎、栗原管内で警報継続中。

[流行性耳下腺炎]
気仙沼管内で警報継続中。

[伝染性紅斑]
登米管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より		
石巻管内	第45週採取分	サボウイルス遺伝子 2件
栗原管内	第46週採取分	ノロウイルス(GII) 3件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第44週採取分 (10.28~11.3)	第45週採取分 (11.4~11.10)	第46週採取分 (11.11~11.17)
RSウイルス	1件	2件	1件

【RSウイルス感染症】

RSウイルス感染症には警報・注意報基準値は設定されていないが、主に仙台南管内で患者報告が多く、今週仙台南管内の報告が目立った。また仙台医療センターウイルスセンターでもRSウイルスの検出が続いている。冬季に流行する傾向があるので、引き続き注意を要する。